

● Infomation ● イベントカレンダー

朝霞市立朝霞市博物館 イベント情報

特定展 外来生物 ～人に運ばれた生き物～

私たちのまわりにはさまざまな生き物がいます。その中にはもともと日本にはいなかった生き物も少なくありません。そこで今回の展示では、もともとその地域にはいなかった生き物（外来生物）に目を向けました。もともといた生き物と外来生物の間で、いま何が起きているのか、一緒に考えてみませんか？

期 間：7月20日（水）～8月31日（水）
会 場：朝霞市博物館 常設展示室
問合せ：048-469-2285（朝霞市博物館）
休館日：月曜日、第4金曜日 ※期間中の休館日



我々は外来種かなあ～？

エコシティ志木 イベント情報

こどもと大人の自然塾 「鳴く虫を聞こう会」

日 時：平成17年9月10日（土）午後5時～7時
集 合：東武東上線「柳瀬川」駅 前 ※サミット前広場
持 物：帽子、水筒、虫取りアミなど ※長袖、長ズボン着用がお勧め
参加費：200円 ※中学生以下は無料、家族さんは家族全員で1名扱い
主 催：財団法人埼玉県生態系保護協会 志木支部
NPO法人エコシティ志木
問合せ：048-471-2211（志木市立教育サービスセンター）

奮って
参加してケロッ！



水子貝塚資料館 イベント情報

水子貝塚星空シアター

日 時：平成17年9月3日（土）午後3時～8時半 ※雨天の場合は9月4日（日）に変更
集 合：水子貝塚公園 ※東武東上線「みずほ台」駅東口下車 徒歩約20分
内 容：縄文体験コーナー（午後3時～5時）火おこし体験、石臼ひき体験、
麻ひものミニぞうりづくり（無料）、まがたまペンダントづくり ※材料費100円
富士見太鼓（午後4時～4時半）御柱行列（午後5時～）
セレモニー（午後5時45分～）ポップス「ふるう☆べりい」（午後6時10分～）
映画「Mr. インクレディブル」（午後6時半～午後8時半）模擬店（午後3時～8時半）
問合せ：049-251-9686（水子貝塚資料館）



駐車場は直ぐに満車になるから、
必ず、電車がバスで来て下さいね！

事務局便り

今号でもお知らせしたとおり、今年度の新河岸川流域フォーラムのテーマは「新河岸川から狭山丘陵を考えてみよう～」に決定しました。源流域と川との関わりや活用について多くの人と情報を共有できるフォーラムにしようと、連絡会でも熱の入った討議を重ねております。もしも、この里川や街中のポスターやチラシをご覧になって、今からでも参加を希望される方がいらっしゃいましたら、できるかぎりギリギリまで受付させていただきますので、以下の連絡先か、今号7頁の問合せ先まで、遠慮なくご一報下さい。

●連絡先

〒115-0042 東京都北区志茂5-41-1
新河岸川流域川づくり連絡会 事務局
（国土交通省関東地方整備局 荒川下流河川事務所 調査課内）
TEL：03-3902-3220 FAX：03-3902-2346
URL：http://www.ara.or.jp/ara/shingashi/
E-mail：shingashi@ara.or.jp

里川しんぶんや当川づくり連絡会の活動についてのお問い合わせや情報提供につきましては、右の連絡先までお気軽にどうぞ！！

THE SHINGASHI BASIN NEWS

新河岸川流域しんぶん



発 行 ●新河岸川流域川づくり連絡会（荒川下流河川事務所 調査課内）
住 所 ●東京都北区志茂5-41-1 TEL03-3902-3220 FAX03-3902-2346
発行日 ●2005年（平成17年）8月19日

VOL.34



切り絵 毛利得範

まもなく8月末、新河岸川流域フォーラムの開催まで秒読みになりました。

今号では新河岸川流域フォーラムの紹介と共にリレーフェスティバルとして流域内の各河川で行われている川まつりを紹介しています。まずは7月中に行われた5河川分の紹介です。どの川まつりも好天に恵まれて、例年を超える参加者で賑わいました。

そして、リレーフェスティバルのとりは8月27日に予定する新河岸川流域フォーラムです。今年のテーマは「新河岸川から狭山丘陵を考えてみよう～」です。皆さん！まだ間に合いますので、奮ってご参加下さい！

目次

P2-5 レポート：2005年「夏」川まつり
落合川、富士見江川
東川、柳瀬川（清瀬）
北川 の5河川を報告

P6-7 特集：新河岸川流域フォーラム
のお知らせ！

P8 流域イベント・インフォメーション
事務局便り

今年の「川まつり」も順調発進中です!

今年のリレーフェスティバルも、例年どおり落合川の「第12回 わくわく川掃除&川あそび」からスタートしました。ここでは、7月中旬に5つの会場で実施した川まつりをレポートします。今年は天気にも恵まれ、どの会場も昨年を上回る参加者で賑わいました。

7.17 落合川(東久留米)

第12回 わくわく川掃除&川あそび ~川をきれいにして川で遊び遊ぼう~

例年どおり、新河岸川流域内の夏の川まつりとしては一番初めに開かれた落合川の川まつり。今年は前夜祭をメインにレポートします。

4時過ぎにひと雨降りましたが、5時からの開会前には雨も上がり、無事に前夜祭のスタートです。落合川の前夜祭を一言で言うなら、川の傍で「涼んで食べて楽しんで」と言ったところでしょうか? 「涼」はもちろん落合川、明日の川まつり本番に向けて、今はひっそりとしています。「食」では、焼そば、綿アメ、カキ氷とたくさんの模擬店がでて、参加者の腹ごしらえも万端です。中にはスリランカ料理まで出店していました。そして、お腹もふくれた頃の6時過ぎには「楽」の始まり。今年には太鼓の演奏やフォークソング、サンシンなどが披露され、その後の映画鑑賞へと続きました。

前夜祭と言うことで、川に入ることこそありませんでしたが、今年で12回目になる落合川の川まつりは、地域の皆さんにもしっかりと根付いているのか、大勢の参加者がそれぞれに川まつり前夜を楽しんでいました。



受付でスタンプ用紙をもらいます。ぜひ他の川まつりにも行ってくださいね!



明日に備えてゴムボートを膨らませます。でも、これって結構大変です。



落合川で取れた魚を覗きこむ子供たち。明日はこの魚を取りたいなあ~!



「楽鼓」の皆さんによる和太鼓の演奏が前夜祭を盛り上げました。

翌17日(日)は川まつりの本番です。ボート遊びなどに必要な水深を稼ぐために下流を1mほど堰き止めていたので、落合川の様子も昨日とは一変していました。イベントとしては初めに川掃除を行い、その後の川遊びへと続きます。川遊びでは、魚取りやゴムボート乗り、一本橋渡りなどが行われ、前夜祭を超える多くの参加者で賑わいました。



川まつり本番のメインイベントはやはり魚取り! 多くの人で賑わいました。



会場の下流には仮設の堰が設けられ、落合川の水深を調整していました。



「はい、こうやってね、足で魚を追い込むんだよ!」指導にも熱が入ります。



こちらは一本橋を渡る少年です。あとちょっと...上手く渡り切れるかなあ?

7.18 富士見江川(富士見)

「富士見江川・川まつり」~お魚捕りと川あそび~



こちらも晴天に恵まれた、今年で3回目になる富士見江川の川まつり。行事としては例年どおり、ゴミ拾いの後に魚を取り、取った魚を水槽に移して「魚類調査」として参加者の前で発表しました。大漁だったドジョウやザリガニの他にも、今年は大きなナマズとコイが取れました。よく見るとナマズにもコイにも水鳥につつかれた傷痕があり、小さな魚を大きな魚が食べ、大きな魚を水鳥が食べるという食物連鎖の一端を確認することができました。

主催の一方、ふじみ環境クラブの河原井さんは、「年々増えている参加者の関心を、川や魚だけでなく環境全体に広げていきたいです」と言います。毎年子供づれで参加するお父さんには「今年からあなたはスタッフです!」と川まつりの準備や運営をお願いしてしまうなど、スタッフの増員にもぬかりはありません(笑)。市民が企画し市民が参加する川まつりならではの一幕ですねっ!

◆富士見江川・川まつり ~江川のサカナしらべ~

【日時】平成17年7月18日(日)10時~12時

【主催】ふじみ環境クラブ、生活クラブ埼玉 富士見三芳支部 鶴瀬地区

【協賛】富士見市立鶴瀬公民館

【参加者】約40家族

【スタッフ】約20名

【天候】晴れ

【場所】山崎公園横の富士見江川

【捕れた水生生物たち】

- ・ナマズ(最大500mm)
- ・ドジョウ(大漁)
- ・ギンブナ
- ・コイ
- ・ウキゴリ
- ・マハゼ
- ・ボラ
- ・メダカ
- ・モツゴ
- ・アメリカザリガニ(大漁)

※沢山捕れたことと魚類の熱中症対策のため個体数調査はせず。

【内容】

- ・お魚捕りの前に、川の中の掃除をみんなでしました。
- ・お魚捕りとお魚の種類を勉強しました。
- ・終了後、お魚を大切にしてくれる人には持ち帰り、残りは川へ戻しました。

【感想】

多くの親子に参加していただき、楽しみながらお魚捕りをしました。また、身近な川にも沢山の生き物がいることを知ってもらう良い機会となりました。

こちらはふじみ環境クラブの伊藤さんからのレポートになります。写真も提供いただきました。



取れた魚を水槽に入れ、参加者の前で発表しました。



取った魚は希望によって持ち帰りも可能でした。責任をもって飼って下さい。



こちらが大きなナマズです。調査の後には川に戻しました。



大きくても小さくても、初めて魚が取れた時の感動はいいものですね。

7.24 東川(所沢)

東川の川を調べてみよう!

東川では、ゴミ掃除、魚取り&魚類調査、水質調査、ボート乗りが行われました。魚取りではオイカワやモツゴ、ヨシノボリなど多くの魚が取れた中に、スジエビの姿も見られました。魚類調査の担当からは、東川は護岸の状況が良いからエビも生息でき、エビがいるから魚も多いという説明がありました。

それにしても、参加している子供たちは皆勉強熱心で、水質調査のテント前には常に人だかりができていましたし、箱めがねを使って川底を観察する子供たちもいました。

主催の越坂部さんは、年々参加する子供たちが増えていることを喜んでます。「川まつりと言えばどうしても遊びが中心になりますが、所沢の中心を流れる川にもこれだけの魚がいるんです。川での遊びをとおして環境を守りそだてる気持ちを学んでもらえれば嬉しい」とのことでした。



水質調査のテントには、常に人だかりができていました。



珍しい魚が取れました! どうやら外来種のような感じです。これは川には戻せません。



ゴムボートとカヌーで遊ぶ子供たちです。楽しそうですね!



こちらは箱めがねで川底を観察する子供です。何か見つけれられたかな?

7.30 柳瀬川(清瀬)

第4小学校サタデースクール「せせらぎ探検隊」

柳瀬川の台田団地前の河畔では、清瀬第4小学校のサタデースクール「せせらぎ探検隊」の行事としての川まつりが行われました。少し雲がかかった暑すぎず心地良い天気の下で、ゴミ拾い、魚取り、段ボールボート乗りを楽しみました。

主催の神沢さんは、「今は小学校の行事としての川まつりですが、清瀬橋付近の河道改修に合わせ、そこを新たな川まつりの会場にするなどして、行く行くは市のまつりとして位置づけていきたいです」と言っていました。

ゴムボートは無くても、段ボールボートを手づくりするところから楽しめるのが良いですね! 小学校の先生方はもとより、市の議員さんの協力もあってこの川まつりが成り立っているとのことでした。小学校から会場までの移動には市のバスを貸してくれているそうです。



まつりの前にまずは諸注意を伝えます。しっかり聞いて安全にね!



こちらも沢山の参加者で賑わいました。親子連れも多かったです。



子供よりもお父さんが夢中になる一幕も... タモ網の取り合いはしないね!



段ボールボートで川くだりです。手づくりなので楽しさも倍増かな?

※川づくり清瀬の会の近藤さんから写真を提供いただきました。



7.31 北川(東村山)

第10回 北山わんぱく夏まつり

北川の川まつりもすっかり市のまつりとして定着しています。会場となる北山公園が広く、また周辺の自然環境が豊かなことあって、企画されるイベントも盛りだくさん。川を中心とする北川ウォーク(北川を歩いて散策する)やカヌー遊びの他にも、八国山虫取りハイクや北山公園内の池でのザリガニ釣りなど、多くの参加者が楽しんでいました。

その他にも、模擬店での食べ物の販売や色々な野遊びなどがあり、子供から大人までが丸一日楽しめるプログラムづくりには、今年で10回目と言う経験の蓄積に見る充実振りを感じました。

「東村山の中でも自然豊かな北山公園は、八国山をバックにその前を流れる北川とに挟まれた素晴らしい会場です。そんな自然豊かな会場での夏まつりを楽しんでいただきながら、将来にさらに豊かな自然を残そうという啓蒙の場、子供たちの現体験の場として、親子で、また子供どうして楽しみながら自然を大切にすることを学んでくれることに期待しています」と主催の渡辺さんが言っていました。



水槽を覗きこむ子供たちです。中には大きなナマズとカエルがいました。



いざ「北川ウォーク」へ出発です。この後川の中へと入って行きました。



こちらはザリガニ釣りの皆さんです。公園のあちこちに見られました。



模擬店も沢山でいました。こちらではビールのつまみを販売中!?



模擬店では歴史あるTシャツを販売していました。レアものです(笑)。



野遊びのひとつ「草細工」では、バッタの作り方を教えていました。



虫取りハイクの参加者にはカブトムシをプレゼント。楽しそうに虫カゴをつくるのは渡辺さんです。



カヌーは大人気! 行列が絶えませんでした。写真の兄弟は息がピッタリ!



8/27(土)

早稲田大学に集合!

新河岸川流域フォーラム

新河岸川から狭山丘陵を考えてみよう〜

埼玉と東京の都県境に位置する狭山丘陵は、都市化が進む武蔵野台地にあって貴重な自然の宝庫となっている丘陵です。

一方、この狭山丘陵には、湧水や湿地が多く、不老川、砂川堀、東川といった新河岸川各支川の始まり、源流域ともなっています。

そこで、今年のフォーラムは、新河岸川の源流域である狭山丘陵を新河岸川から見、そして源流から新河岸川を見て、この源流域をどのように守り、育て、そして活用するかということについてみなさんで考えてみたいと思います。

【日 時】8月27日(土) 9時30分～16時 (受付9時～)

【場 所】早稲田大学所沢キャンパス「118教室」※115教室より変更になりました。

(埼玉県所沢市三ヶ島2-579-15 / TEL: 04-2949-8111)

【内 容】

午前:ウォーキング (10時～13時20分) ※湧水地、湿地、樹林、動植物等 源流を観察

◆Aコース 早稲田大学所沢キャンパス 早稲田大学湿地保全活動(B地区湿地)内

◆Bコース 早稲田大学所沢キャンパス 早稲田大学湿地保全活動(B地区湿地)～比良の丘～八幡湿地～さいたま緑の森博物館(大谷戸湿地) ※7頁コース図参照

午後:基調講演 (13時50分～14時30分)

パネルディスカッション (14時30分～16時)

◆基調講演 「新河岸川支川源流域の湿地の保全について」

早稲田大学自然環境調査室調査主任 大堀 聡

◆パネルディスカッション 「新河岸川から狭山丘陵を考えてみよう」

《司 会》永石 文明(砂川堀流域川づくり懇談会代表)

《パネラー》恵 小百合(NPO法人荒川流域ネットワーク代表)

大堀 聡(早稲田大学自然環境調査室調査主任)

正田 浩司(埼玉県立所沢高校教諭[地学])

相馬 和彦(不老川流域川づくり市民の会代表)

小林 寛治(NPO法人空堀川に清流を取り戻す会理事長)

奮って参加して下さいね!
お待ちしていま〜す!



～主催・共催団体～

《新河岸川流域総合治水対策協議会》

国土交通省関東地方整備局/埼玉県/東京都/
所沢市/朝霞市/入間市/さいたま市/上福岡市/
川越市/狭山市/志木市/新座市/富士見市/
和光市/大井町/三芳町/板橋区/北区/練馬区/
清瀬市/小平市/立川市/西東京市/東久留米市/
東村山市/東大和市/武蔵村山市/瑞穂町

《新河岸川流域川づくり連絡会》

国土交通省荒川下流河川事務所/
不老川流域川づくり市民の会/
砂川堀流域川づくり懇談会/
柳瀬川流域ネットワーク/
黒目川流域川づくり懇談会/
白子川流域の水環境を良くする会

■ 7月23日(土)には、川づくりの会の皆さんとともに、新河岸川流域フォーラムの午前中に予定されているウォーキングコースの下見に行きました。メンバーは事務局を含む10名です。

これはフォーラム当日にウォーキングに参加する皆さんが、無理なく時間通りに往復できるのか、足場の悪いところや危険なところはありはしないかなどを調査することを目的としています。

湿地にはカヤネズミ等が生息し、豊かな自然環境が形成されています。



下図が
ウォーキングコース
の概略です!

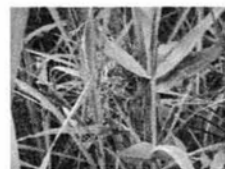
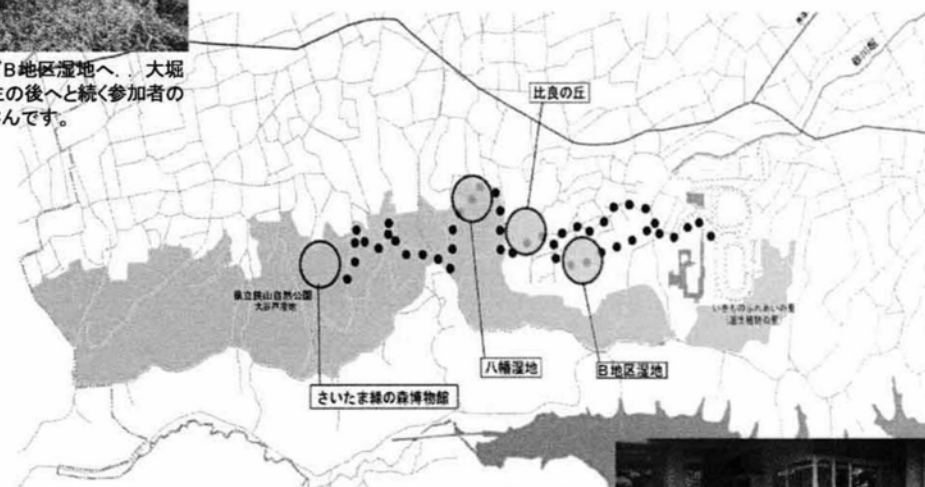


草を掻き分け奥へと進みます。足場には板が敷かれていました。



B地区湿地の全景です。乾燥化が進んでいるようです。

いざB地区湿地へ。大堀先生の後へと続く参加者の皆さんです。



カヤネズミの巣を発見! ミヤマシラスゲを使って巣をつくとのことでした。



八幡湿地の源流にはホトケドジョウやトウキョウサンショウウオがいました。



下見の後の記念撮影です。皆さん本日はお疲れ様でした! (写真中央が大堀先生)

フォーラムの問合せ先

(株)日本能率協会総合研究所
社会基盤研究部 河川研究室内
TEL: 03-3578-7525
FAX: 03-3432-1837
E-MAIL: keita_kondo@jmar.co.jp

国土交通省関東地方整備局
荒川下流河川事務所 調査課内
TEL: 03-3902-3220
FAX: 03-3902-2346
E-mail: shingashi@ara.or.jp
URL: http://www.ara.or.jp/arage/shingashi/